

各関係機関団体の長 } 殿
各病虫害防除員 }

福岡県農林業総合試験場長
(福岡県病虫害防除所)

令和 6 年度病虫害発生予察技術情報第 6 号について

このことについて、病虫害発生予察技術情報第 6 号（果樹カメムシ類）を発表したので送付します。

技術情報第 6 号

1 対象作物：果樹全般

2 病虫害名：果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ他）

3 発生予報

発生量：8 月以降の果樹カメムシ類の発生量は多い。

発生時期：スギ・ヒノキ樹に寄生している果樹カメムシは、エサである球果が劣化するまでスギ・ヒノキ樹に留まる。その後離脱し、果樹園等へ飛来する。7 月 5 半月の球果の状況より、離脱時期は 8 月 6 半月頃の地域が多いと予測される。

4 ヒノキ球果口針鞘数状況、果樹カメムシ類発生状況

(1) ヒノキ球果口針鞘数状況

県下 14 地点の定点調査結果は次項表のとおり

県下平均：4.6 本/果 ⇒ 離脱時期予測は 8 月 27 日頃

朝 倉 地 域：4.5 本/果 ⇒ 離脱時期予測は 8 月 26 日頃

久 留 米 地 域：5.9 本/果 ⇒ 離脱時期予測は 8 月 24 日頃

筑 後 地 域：6.3 本/果 ⇒ 離脱時期予測は 8 月 21 日頃

県 北 地 域：2.8 本/果 ⇒ 離脱時期予測は 9 月 1 日頃

(2) 果樹カメムシ類発生状況

筑紫野市における、チャバネアオカメムシのフェロモントラップ誘殺数は昨年度より多い。

昨年度及び、越冬量が多くヒノキ球果結実数が少なかった 2020 年との比較は、下記のとおり。

2024 年度：越冬量 2.3 頭/㎡、4～7 月 4 半月誘殺数 9,904 頭 ヒノキ球果結実数 少ない 1.9

2023 年度：越冬量 1.1 頭/㎡、4～7 月 4 半月誘殺数 762 頭 ヒノキ球果結実数 中程度 3.7

2020 年度：越冬量 5.0 頭/㎡、4～7 月 4 半月誘殺数 5,187 頭 ヒノキ球果結実数 少ない 2.0

詳細は、令和 6 年 7 月 22 日付け 6 農林試第 420 号－4、病虫害発生予察注意報第 4 号（果樹カメムシ類）も参照。

5 防除上注意すべき事項

- (1) 予察灯やフェロモントラップでの誘殺数が増加する時期と量に留意し、果樹園への飛来状況の把握に努める。
- (2) 発生時期や発生量は地域や園によって大きく異なるため、把握のための観察は一部の樹だけではなく、園全体の樹について行う。
- (3) 飛来状況を確認し、防除や袋掛け作業を徹底する。また、果樹カメムシ類は広範囲に移動することから、薬剤散布は広域で一斉防除を実施することで、高い防除効果が期待される。
- (4) 今後の発生状況については、病虫害防除所ホームページ (<https://www.jppn.ne.jp/fukuoka/>) を参照する。

ヒノキ球果口針鞘数

調査時期: 2024年7月5半旬

調査時期: 2024年7月6～15日

調査地点		採取日	ヒノキ球果		カメムシ類 離脱予測時期
			口針鞘数 (本/果)	口針鞘が認められた 球果の割合(%)	
朝倉	筑前町夜須吹田①	7月18日	5.5	95	8月21日
	朝倉市朝倉宮野	7月18日	4.8	95	8月23日
	朝倉市杷木志波①	7月23日	3.1	95	9月3日
	平均		4.5	95	8月26日
久留米	久留米市田主丸森部	7月23日	7.0	95	8月20日
	うきは市吉井福益①	7月23日	3.8	80	9月1日
	うきは市浮羽小塩	7月23日	6.8	100	8月21日
	平均		5.9	92	8月24日
筑後	八女市黒木今②	7月24日	4.7	90	8月29日
	八女市立花飛形山②	7月24日	9.4	100	8月13日
	みやま市山川立山	7月18日	5.0	95	8月22日
	平均		6.3	95	8月21日
県北	筑紫野市吉木	7月18日	1.8	50	9月3日
	宗像市山田	7月19日	1.4	50	9月6日
	岡垣町糠塚	7月19日	0.8	45	9月8日
	飯塚市庄内高倉	7月22日	2.6	50	9月4日
	みやこ町勝山大久保①	7月23日	7.4	100	8月19日
	平均		2.8	59	9月1日
2024年 平均			4.6	81	8月27日
平均	2023年		0.5	17	9月3半旬
	2022年		2.2	55	9月1半旬
	2021年		1.4	49	9月5半旬
	2020年		0.8	39	9月2半旬
	2019年		1.5	50	9月2半旬
	2018年		7.3	92	8月4半旬
	2017年		0.7	27	9月1半旬
	2016年		1.9	47	8月6半旬

注1) 口針鞘数は1地点当たり20球果調査

注2) 新世代成虫のヒノキからの離脱時期は、1果当たりの口針鞘数が25本に達する時

$$* \text{予測式: } Y = 54.17 - 3.776x + 0.01937x^2$$

(Y: 球果採集日から離脱までの日数、x: 口針鞘数<7月5半旬調査結果のみ適用>)

病虫害防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

① 福岡県病虫害防除所のホームページ

URL: <https://www.jpnpn.ne.jp/fukuoka/>

または右のQRコード



最新の病虫害発生状況

②X (旧 Twitter) の

本アカウント (福岡県農作物病虫害情報)

URL: https://twitter.com/PPDPO_Fukuoka

または右QRコード

